



活動報告

韓国のイベントにエコドライブ評価システムを出展!

研究調整課 村上 隆弘

東京都におけるエコドライブ普及促進の取り組み事例の紹介として、韓国の仁川で開催された「仁川世界都市祝典(平成21年8月～10月)」に、エコドライブ評価システムを出展(9月1日～10日)しました。

このシステムは、パソコンと液晶モニター及びステアリングコントローラを用いた簡易型評価システムで、1人当たり4～5分程度の所要時間がかかりますが、展示期間中の体験者数は約800人にのぼる盛況ぶりでした。

韓国におけるエコドライブの認知度は、日本と比べてまだやや低いように感じられましたが、実際に体験してもらうことによって、多くの来場者にエコドライブを知ってもらい、興味をもってもらうことができました。

このシステムは当研究所に展示していますので、ぜひエコドライブを体験してみてください!



韓国におけるエコドライブ体験の様子

資料室

・VOL.2・

だより

資料室の蔵書は、現在約48,000冊あり、独自の分類(公害、都市問題、日本十進分類法、JIS)により管理されています。そのうち公害関係の図書(約29,000冊)が半分以上を占め、さらに公害一般、大気汚染・悪臭、水質汚濁、騒音・振動、地盤沈下、廃棄物・土壌汚染、自然保護等に細分され、体系的に管理されています。

今回は、公害一般、大気汚染に分類されている図書の中から、いくつかご紹介します。

- 「初期リスク評価書シリーズ1～150」(独)製品評価技術基盤機構編 発行2009年5月
化学物質管理法の対象物質(435物質)のうち、環境への排出量が多いと考えられる物質を中心に、150物質(亜鉛の水溶性化合物、ジクロロメタン、トルエン等)を対象としたリスク評価書です。
- 「研究助成成果報告書[学術研究]・[一般研究]」(財)とうきゅう浄化財団編 発行1977年～
(財)とうきゅう浄化財団が助成している研究の成果報告書で、「多摩川水系飲用水に関する市民コーディネーター育成アカデミーの設立(学術研究No.275)」 「住民の目で見つづけた多摩川の35年(一般研究No.174)」などがあります。
- 「国立環境研究所研究報告」(独)国立環境研究所編 発行1977年10月～
国立環境研究所特別研究報告(1989年3月～)には、「大気中微小粒子状物質(PM_{2.5})・ディーゼル排気粒子(DEP)等の大気中粒子状物質の動態解明と影響評価プロジェクト(終了報告)」などがあります。
- 大気汚染常時測定局測定結果報告 月報(昭和41年1月～)東京都環境局編 発行1967年3月～
昭和41年から今日に至るまでの大気汚染の測定データを掲載しています。

また、これらの図書以外にも、「環境技術」「環境と公害」「省エネルギー」など一般向け雑誌や、「大気環境学会誌」「日本音響学会誌」等の学会誌、大学や研究機関が発行している報告集などがあります。